

学術集会発表論文投稿規程

1. この規定は、日本脊髄障害医学会雑誌 The Journal of the Japan Medical Society of Spinal Cord Lesion（以下「日脊障医誌 JJaSCoL」という）に掲載する日本脊髄障害医学会（以下「本学会」という）の学術集会発表論文投稿の作成及び投稿方法等について定めるものである。
2. 日脊障医誌は、原則として、本学会会員が学術集会で発表した投稿論文に掲載する。本誌に掲載する学術集会発表論文は1編2ページ（但し、1ページを超えること）とする。
3. 投稿論文は、未発表のものであり、他誌に掲載予定でないものに限る。臨床研究はヘルシンキ宣言[†]に、動物実験は各施設の規定に、それぞれ沿ったものとする。
なお、投稿に際しては「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針[※]（外科関連学会協議会：平成16年4月6日）」を遵守すること。
[†] <http://www.med.or.jp/wma/helsinki02.j.html>
[※] <http://www.jssoc.or.jp/aboutus/relatedinf/privacy.html>
4. 投稿論文は編集委員会の名において一部修正を求めることがある。
5. 投稿は、本学会のホームページ <http://www.jascol.jp/>から行う。
6. 日脊障医誌後の学術集会発表論文は proceeding として扱う。
7. 表題は、副題を含め 60 字程度まで使用することができる。副題を付ける場合は、主表題と副題がそれぞれ1行ずつになるように改行すること。
8. 著者は8名以内（他施設共同研究者を含む）とする。一般演題の著者は共著者も含めて、日本脊髄障害医学会会員であることを要する。原稿提出時までに入会されない場合は、会則により原稿より氏名が削除される。掲載雑誌は購入希望の場合は別途（1冊5,000円）となる。
9. 投稿原稿は和文若しくは英文とし、図表のない状態で4700字程度（引用文献を含む）とする。図表はJPEGもしくはGIF形式で投稿し、通常画像5点、幅広画像1点が使用できるものとする。通常画像の幅は約69mm、幅広画像の幅は約148mmに印刷される。
10. Key word（英語と日本語）3個をIndex Medicusの見出し語（Medical subject headings-Annotated alphabetic list）のkey wordの中から選定し、付記すること。
11. 和文の原稿は、常用漢字、現代仮名遣いを用い、学術用語は、『医学用語辞典英和』（日本医学会医学用語管理委員会編、東京：南山堂、1997）『整形外科学用語集』（日本整形外科学会編、第5版、東京：南江堂、1999）等に準拠すること。数字はすべて算用数字を使用し、日本語化した外国語は片仮名で記述すること。外国語は、外国綴りそのまま記述すること。
12. 数量の単位は、原則としてSI単位（Système international d Unités.）に準拠し、m, kg, mol, L, °C, などをを用いるが、pH, mmHgなどは慣用上使用してもよい。
引用文献は本文の次に記載し、下記の事項に注意すること。
 - a. 引用文献は、本文中の引用箇所に見出し番号を付け、和文、英文を区別することなく、その文献が本文に引用された順に並べること。
 - b. 引用文献の記載方式は、原則として最新のInternational Committee of Medical Journal EditorsによるUniform Requirements（いわゆるバンクーバー方式）に従う。
 - c. 英文の表題は、文頭及び固有名詞以外の文字はすべて小文字を使用すること。

- d. 雑誌名の省略は、和文誌では各雑誌に指定された略称に従い(例. 日本脊髄障害医学会雑誌は日脊障医誌), 指定のないものは醫學中央雑誌収載誌目録(医学中央雑誌刊行会編)の略名表に従う. 欧文雑誌は Index Medicus の省略名 (List of journals indexed in Index Medicus, NIH に収載)に従う.

記載例

雑誌

著者名 (姓を先に). 表題. 雑誌名 (欧文誌では略号のピリオドを省く) 発行年 (西暦); 巻: 始めのページ-終わりのページ

[和文例] 佐藤功, 中尾直樹, 衣斐達, 他. 神経内科領域の脊髄障害. 日脊障医誌 2004; 17: 14-16.

[英文例] Frankel HL, Hancock DO, Hyslop G, et al. The value of postural reduction in the initial management of closed injuries of the spine with paraplegia and tetraplegia. I. Paraplegia 1969; 7: 179-92

単行本

著者名 (姓を先に). 章表題. 書名. 版 (初版は略してもよい). 発行地: 発行社 (者), 発行年 (西暦); 始めのページ-終わりのページ. 但し, 章表題及び始めのページ・終わりのページは省略してもよい.

1. 単著

[和文例] 徳弘昭博. 脊髄損傷—日常生活における自己管理のすすめ. 第2版. 医学書院: 東京; 2001.

[英文例] Bedbrook GM. The care and management of spinal cord injuries: Springer-Verlag: New York; 1981.

2. 編著

[和文例] 田中順一, 新宮彦助. 脊椎脊髄損傷の病態 -病理-. 井形高明、阿部弘編. 脊椎脊髄損傷の治療. 初版. 現代医療社: 東京; 1994: 19-39.

[英文例] Hughes JT. Pathology of the spinal cord. In: Smith A (ed). *Surgery for Pathologists*. 2nd ed. Churchill Livingstone: Edinburgh 1978, pp 315-316.

13. 掲載料は無料であるが、別冊は著者が実費 (50 部 ¥14,000、100 部 ¥16,000) を負担とする.

14. 原稿作成上の不明な点の問い合わせは、下記へ行うとする.

京葉コンピューターサービス株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 3-3-10 タツノ第3ビル 4F

TEL: 03-5441-7757 FAX: 03-5441-2515

e-mail: jascoll@kcs-grp.co.jp